

JMOOCのマイクロクレデンシャル に関する活動経緯

児玉靖司

JMOOC理事、マイクロクレデンシャルWG主査
法政大学教授

目次

1. JMOOCの国際連携に関する活動
2. 海外の現状（アジア）
3. Thai MOOC Academy（ACBS）
4. ユーロパス
5. ECTS
6. JV-Campusとの共同WG
7. デジタルバッチ
8. まとめ

JMOOCの国際連携活動

- ユネスコ主催（ユネスコ@バンコック）の国際会議
- アジア欧州会議（分科会）主催の国際会議
K-MOOC（韓国）が中心
- **2015年**（中国成都）〈ユネスコ主催〉
 - Regional Expert Meeting on MOOCs
日本代表として「オンライン授業」について
- **2016年**（明治大学）〈ユネスコ、JMOOC主催〉
 - Asia Regional MOOC Stakeholder Summit 2016
- **2017年**（タイ・バンコック）〈ユネスコ主催〉
 - The 1st Asia-Pacific MOOCs Stakeholder Summit
タイの**Thai-MOOC**、韓国の**K-MOOC**と協調して開催した。
- **2018年**（中国深圳）〈ユネスコ主催〉
 - Asia-Pacific Regional Seminar on MOOCs for Higher Education
- **2018年**（ソウル）〈アジア欧州会議（ASEM）主催〉
 - ASEM MOOC's Stakeholders Forum 2018

JMOOCの国際連携活動

- **2019年**（中国深圳）〈ユネスコ主催〉
 - Regional Consultation on ICT-Driven Innovation in Higher Education in Asia-Pacific
- **2019年**（マレーシア・プトラジャヤ）〈アジア欧州会議（ASEM）主催〉
 - ASEM MOOCs Stakeholders Forum 2019
- 〈コロナ禍（Covid-19）〉
- **2020年**（オンライン開催）〈アジア欧州会議（ASEM）主催〉
 - ➡ **ACBSを発表**
 - ASEM MOOCs Stakeholders Forum 2020

JMOOCの国際連携活動



マレーシア (2019)



中国 (2019)



タイ (2017)

⇒ 2020年 ASEM会議
ACBS
(Academic Credit Bank System)
を発表

JMOOCの国際連携活動

- アジア諸国では、当初より**クレジットあり（有料）**が主流である。Cyber University or Open University or 放送大学と同様の扱い。
- **K-MOOC、Thai-MOOC、JMOOC** が中心である。
- 2019年頃から K-MOOC、Thai-MOOC では、**ACBS**(Academic Credit Bank System<単位バンク>) を構築している。



マイクロクレデンシャルの議論へ

JMOOCの国際連携活動

- **2018年**に中国では、**10グループ**位あった。現在は、**清華大学グループ**（Xuetangx,スエタン）が主流である。
- その他、**香港**、**イラン**、**インド**、**スリランカ**、**ミャンマ**、**モンゴル**などでもMOOCsを実施している。



マイクロクレデンシャルの導入については調査中

JMOOCの国際連携活動

- 2023年 The 14th TCU International e-Learning Conference (バンコク・タイ) にて



JMOOCの国際連携活動

■ 2023年 NALI2023 (マレーシア) にて



JMOOCの国際連携活動

MOOC and Micro-Credential @ UTM

UTM **CDex** CENTER FOR ADVANCEMENT IN DIGITAL AND FLEXIBLE LEARNING

Benefits

Massive Open Online Courses (MOOC)

- Free access anytime, anywhere
- Free online courses with professionals
- Credit transfer in UTM
- Interactive course materials
- Global student community

Micro-Credential (MC)

- Affordable access anytime, anywhere
- Affordable online courses with professionals
- Credit transfer in UTM
- Interactive course materials
- Global student community
- Earn a digital badge and certificate

Introduction

Massive Open Online Courses (MOOCs) are online courses available for any person to enrol for free. It provides an affordable and flexible way to learn new knowledge and skills.

Micro-Credential (MC) courses are certification of learning for a smaller set of courses designed to provide learners with knowledge, skills, values and competencies in a narrow area of study or practice.

UTM MOOC UTM MC@UTM Micro-Credential

To know more MOOC and MC courses that we offer, go to our e-catalogue by scanning the QR code below

or visit our platform directly at <https://mooc.utm.my/>

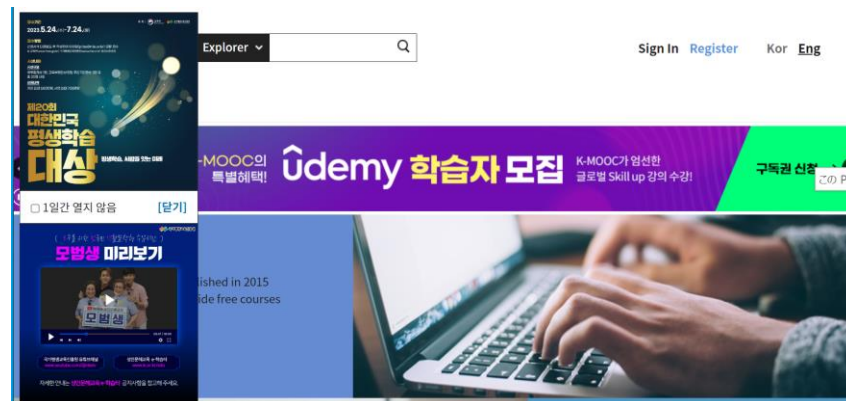
For more information contact us at
Center for Advancement in Digital and Flexible Learning (UTM CDex)
Universiti Teknologi Malaysia

016-2195295 utm-mooc@utm.my

海外の現状 (アジア)

■ K-MOOC (韓国) (<http://www.kmooc.kr/>)

National Institute for
Lifelong Education
(国立機関)



ACBS を構築

マイクロクレデンシャルを導入、定義

海外の現状（アジア）

■ 中国 (<https://www.xuetangx.com/>)

清華大学（の子会社）

（国立大学）

HPのクラウドを買収
学習者 1 億人以上



■ 中国 (<https://cmooc.bnu.edu.cn/>)

上海の大学

（国立大学）



海外の現状 (アジア)

■ インドネシア (<https://icei.ac.id/>)

Indonesia Cyber
Education Institute
(ICE Institute)
(国立大学)



■ マレーシア

(<https://www.openlearning.com/celtpoliteknikmalaysia/>)

多くの大学で独自にMOOC を実施している。

(国立大学)

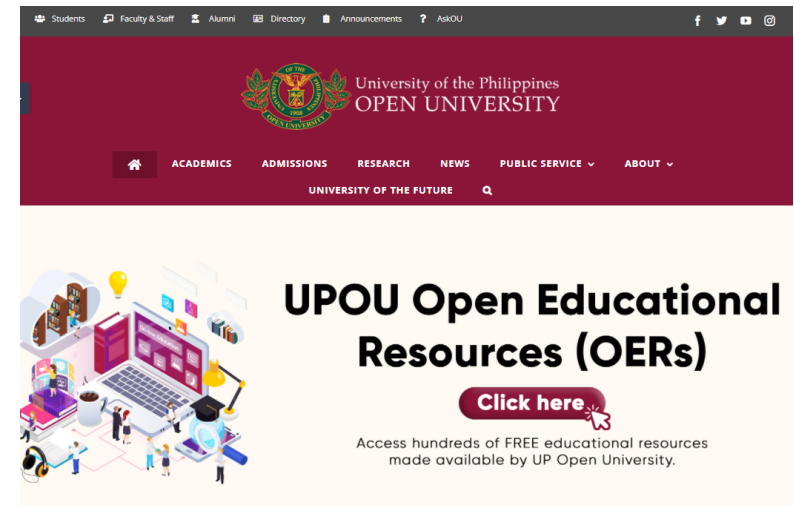


マイクロクレデンシャルを導入、定義

海外の現状 (アジア)

■ フィリピン (<https://www.upou.edu.ph/home/>)

University of the
Philippines
Open University
(UP Open University)
(国立大学)



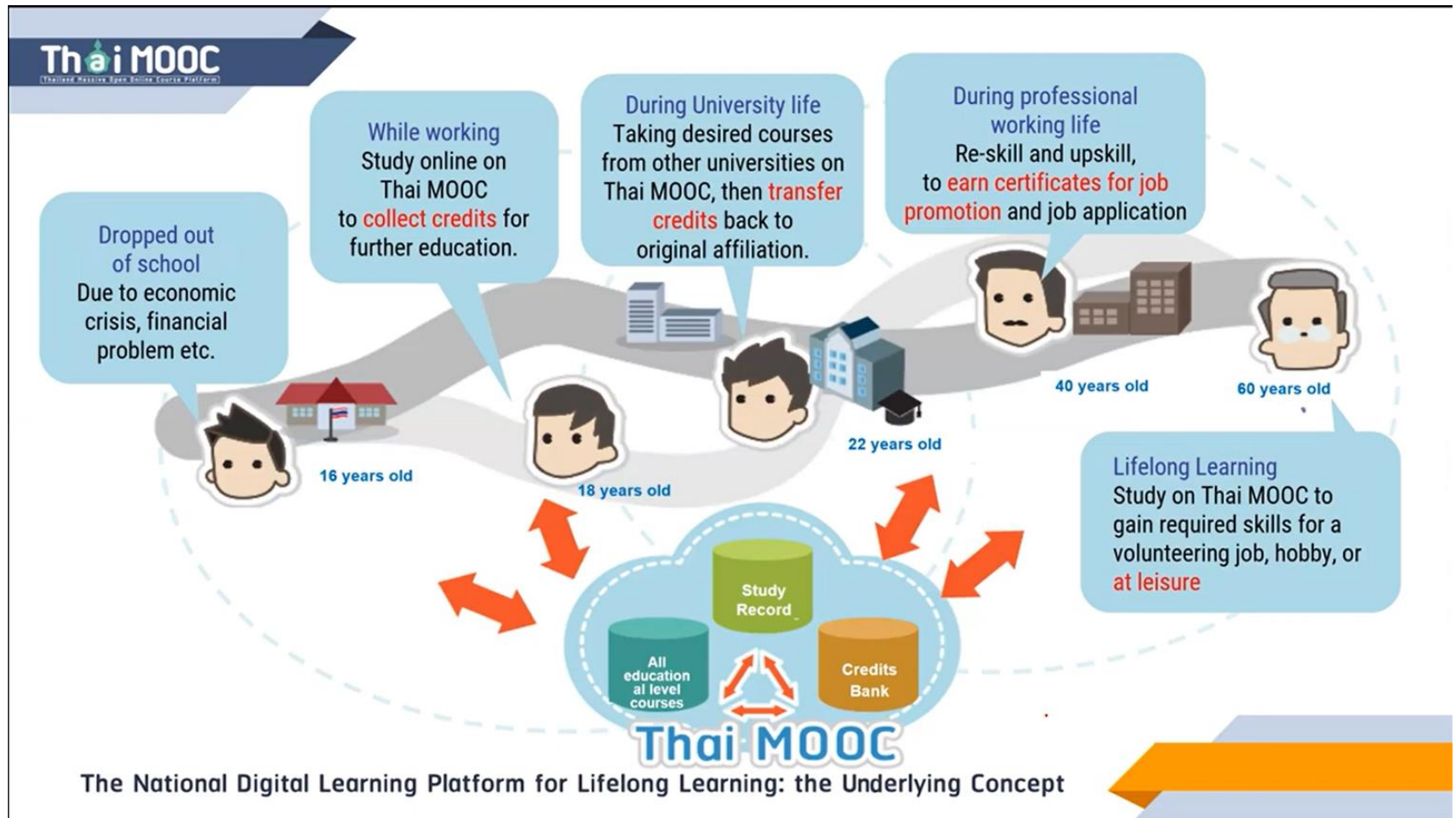
海外の現状 (アジア)

■ Thai-MOOC (タイ) (<https://thaimooc.org/>)

Thailand Cyber
University Project
(TCU) (国立機関)



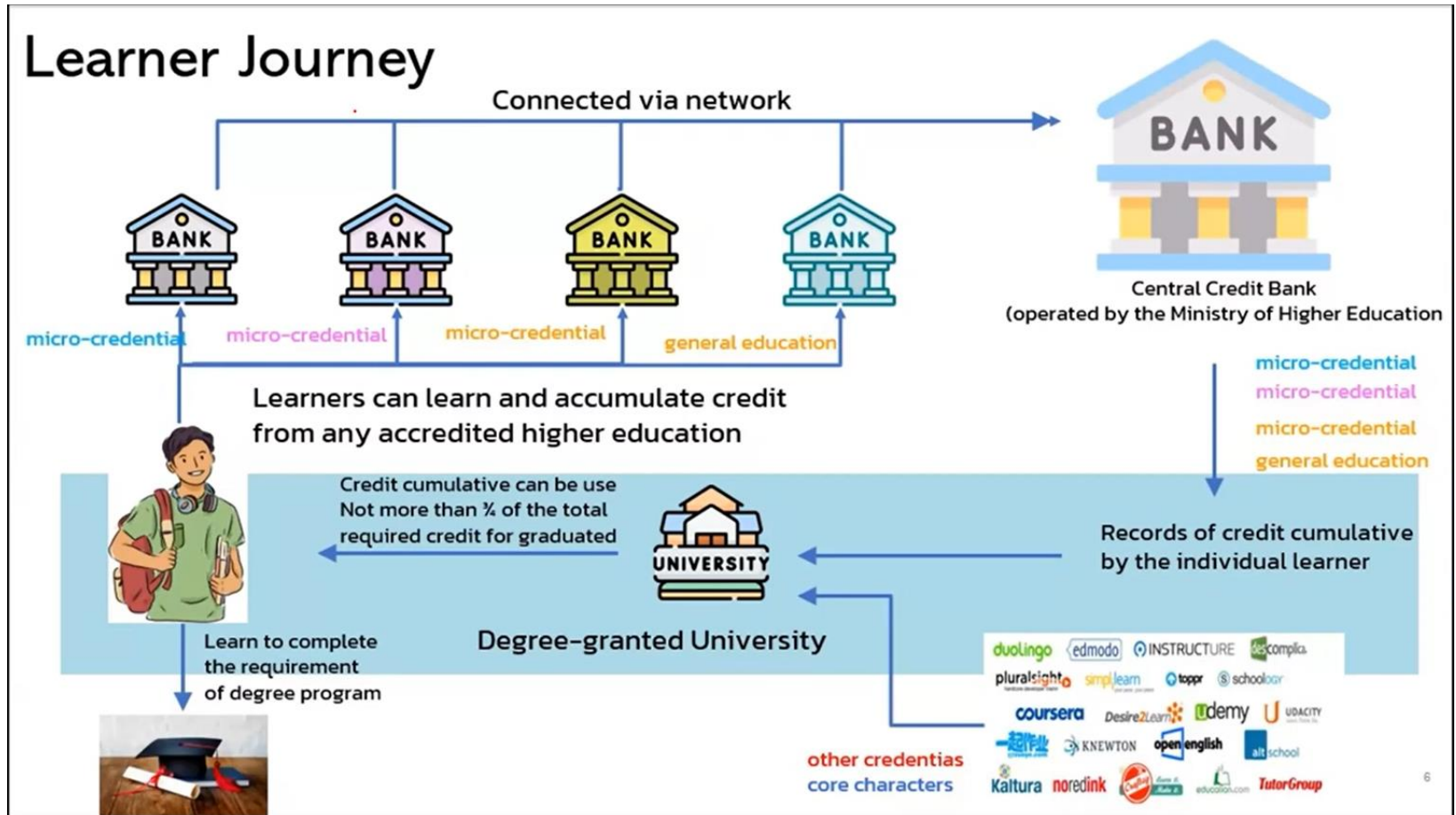
Thai MOOC Academy



Thai MOOC Academy



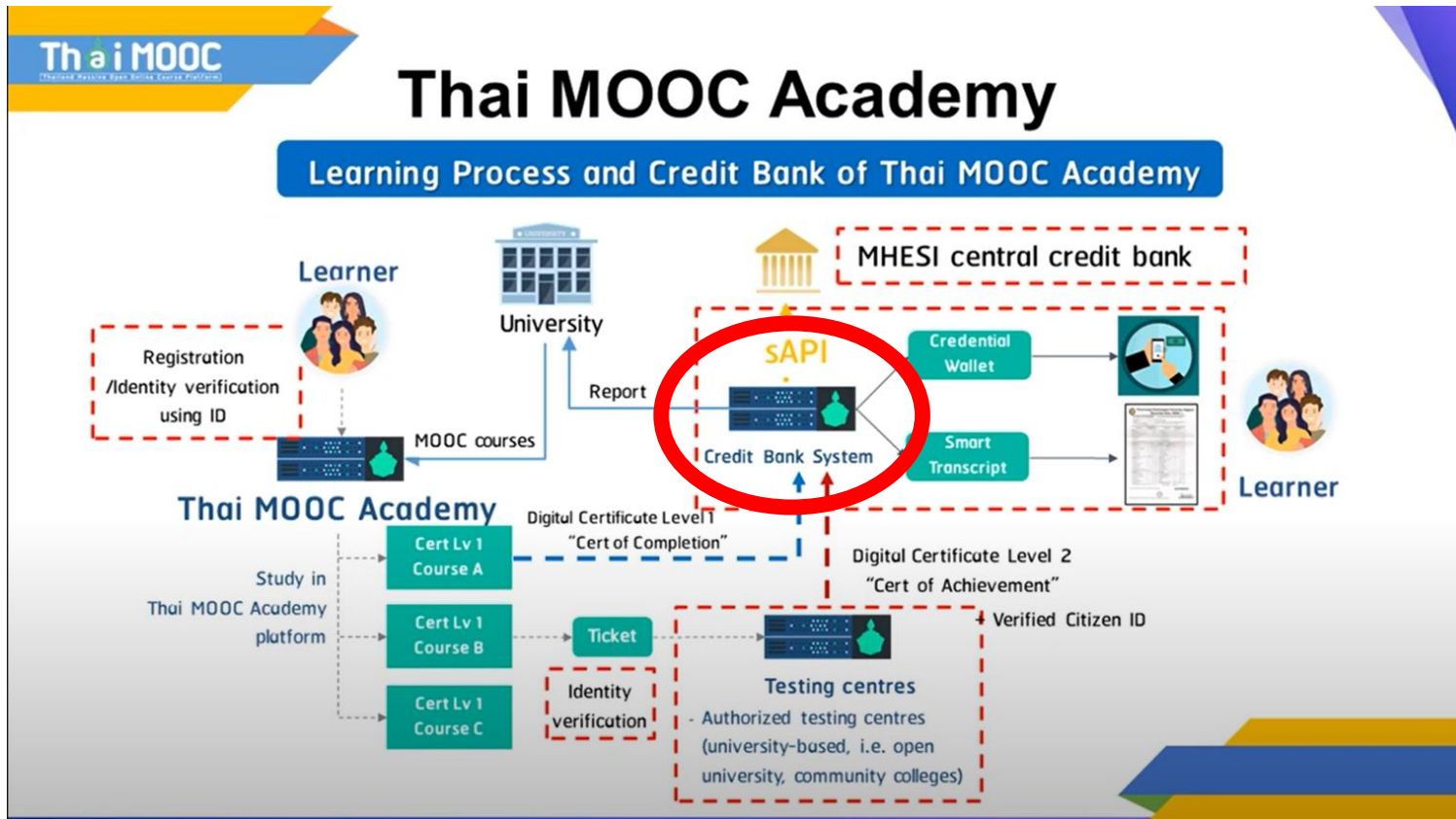
Thai MOOC Academy



2024/1/19

Thai MOOC Academy

マイクロクレデンシャルを導入、定義



ASEAN Credit Transfer System

ユーロパス (Europass)

- <https://qaupdates.niad.ac.jp/2021/03/24/microcredential-european-approach/>

さらに、2020年7月に立ち上げられた新たなユーロパス^{※1}は、マイクロクレデンシャルを含め、学習成果の記録を電子的に発行、保管、共有することが可能で、European Student Card Initiative^{※2}と紐づけることによって、マイクロクレデンシャルにおける資格の承認やポータビリティ等に伴う課題の解決を支援するとされる。

- 生涯教育
- 仕事を獲得するためには、**マイクロクレデンシャルは必須**

ユーロパス (Europass)

europass European Union

EN English

europass Europass tools Learn in Europe Work in Europe About Europass Stakeholders

Login to Europass

europass

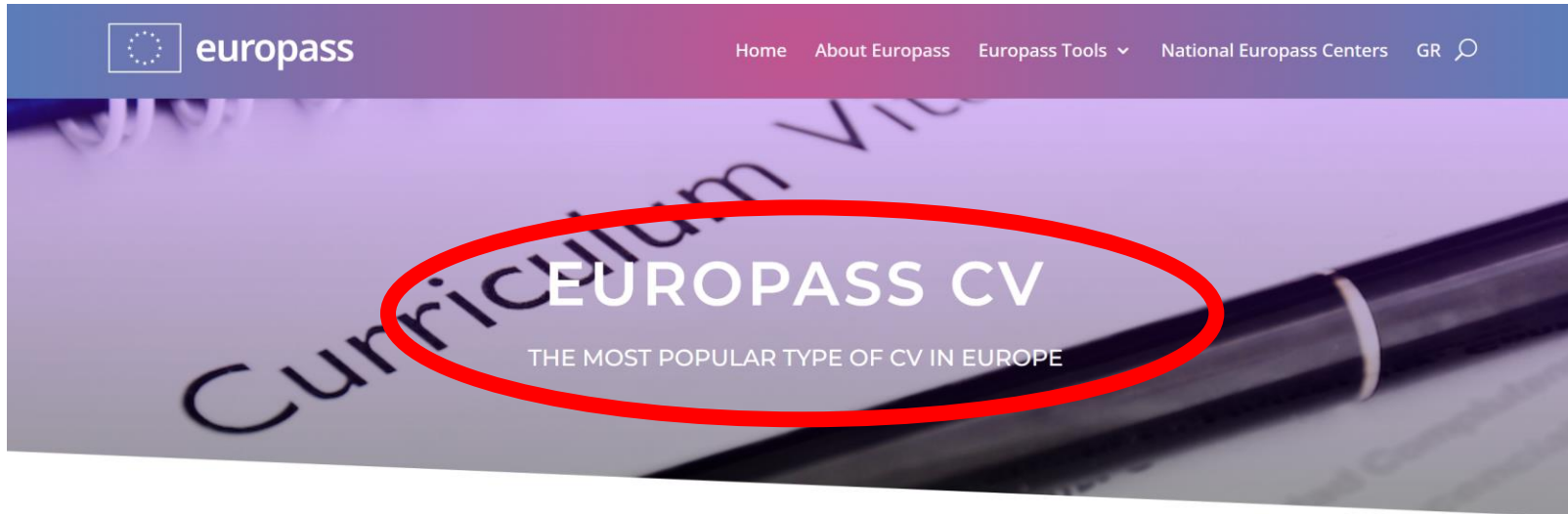
Take the next step

Your free, personal tool for learning and working in Europe

Create your free Europass profile

2024/1/19

ユーロパス (CVを作成⇒将来は自動)



THE MOST POPULAR TYPE OF CV IN EUROPE

EUROPASS CV

A CV is usually the first opportunity to showcase yourself, your knowledge, skills and experiences.

Europass helps you easily create **your online CV for free.**



ECTS (European Credit Transfer and Accumulation System)

■ 高等教育



EN English

European Education Area

Quality education and training for all

Home

About EEA ▼

Focus topics ▼

Education levels ▼

What's new? ▼

Resources and tools ▼

Funding ▼

You are here: [European Education Area](#) / [Education levels](#) / [Higher education](#) / [Inclusive and connected higher education](#) / [European Credit Transfer and Accumulation System](#)

About education levels

Early childhood education and care

School education ▼

European Credit Transfer and Accumulation System (ECTS)

2024/1/19

文科省

■ https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shitu/1287263_00001.htm

● ユネスコ・文部科学省共同ワークショップ「アジア・太平洋地域におけるマイクロレデンシャルの公正な承認にむけて」の開催について

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のように対面での授業を実施することが難しい中で、オンライン教育の成果を記録する有効な手段として、また多様な学習形態を支援・発展させる手段としてマイクロレデンシャルが注目されています。

そこで文部科学省ではユネスコとともに、アジア太平洋地域におけるマイクロレデンシャルの運用や相互承認のなされ方について情報を持ち寄り、共通認識を形成する機会としてマイクロレデンシャルに関するワークショップを開催します。

1. 日時・場所等

開催日時 2022年8月24日(水曜日)10時30分～15時20分

開催場所 会場: 関西国際大学尼崎キャンパスKUISsホール、WEB配信: オンデマンド配信 (Zoomを予定)

2. 主催・共催

主催: 文部科学省、UNESCO (バンコク事務所)

共催: 経済協力開発機構 (OECD)、関西国際大学

3. プログラム

(1) 開会

主催者・共催者挨拶

■ JV-Campus <https://www.jv-campus.org/>

2024/1/19

JV-Campus JMOOC共同WG

■ https://www.jmooc.jp/202308_report/

【活動報告】マイクロクレデンシャルに関する共同WG設立について (Followed by English translation)

2023年8月31日

ニュースリリース

シェアする 30

✕ ポスト

2023年8月18日

大学の国際化促進フォーラム

Japan Virtual Campus運営委員会

一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会

マイクロクレデンシャルに関する共同WG設立について

大学の国際化促進フォーラム、Japan Virtual Campus運営委員会（以下、JV-Campus）、一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会（以下、JMOOC）は、3団体合同からなる「マイクロクレデンシャルに関する共同WG」を2023年8月18日に設立しました。

グローバルにオンライン学習環境が発展して、学習者が内容を自由に選択して時間、空間の制約を受けずに学習することが実現しつつある中、様々な学習者の要求に適切に応じられるためには、学習用コンテンツの学習目的、内容の表示や修了条件の明示とともに質保証が必要になります。

マイクロクレデンシャルは、学習者が知っていること、理解していること、またはできることを証明する対象が重点化された学修成果の記録です。その学修成果は明確に定義された基準に基づいて評価され、教育の質が保証されます。

2024/1/19

デジタルバッチ

マイクロレデンシャルは教育、デジタルバッジは情報

マイクロレデンシャル

新しい教育のフレームワーク

- ・特定の領域を学んだ学修成果の記録

(リカレント教育、リスキリング)

フレームワーク(枠組み)策定

- ・教育や資格の制度を国、地域(EU)、教育機関、団体等が決める
- ・マイクロレデンシャルの授与の必要条件

信頼への寄与方法

- ・教育の質保証による信頼(学修成果を評価し、保証する)
- ・信頼できる授与機関であることを示す

混同されている場合があるので注意。**≠**

事例: 専門家団体PMIがマイクロレデンシャルをデジタルバッジで証明した。



学修成果を記録

デジタル技術で検証

デジタルバッジ

情報技術仕様(標準)

- ・汎用的なデジタル証明の技術(参加証、学修証明、資格証などのデジタル発行の他に、免許証などにも広く使われる情報技術)

技術仕様(標準)策定

- ・国際的な情報技術団体等が決める
- ・情報の記載と検証の方法

信頼への寄与方法

- ・情報のセキュリティによる信頼(例: 情報が改ざんされていないこと、偽造でないことを証明する。)

デジタルバッチ（日本）

- 日本はデジタルバッチ
- タイ（Thai MOOC）と韓国（K-MOOC）は、ACBS（Academic Credit Bank System）
- ヨーロッパは、ユーロパス（Europass）

まとめ

- JMOOCでは、2015年よりアジアのMOOCsのステークホルダーと連携し、活発な議論をしている。
- 2020年頃より、Thai-MOOC、K-MOOC より、ACBS(Academic Credit Bank System) が導入され、マイクロクレデンシャルに関する議論が活発化した。
- アジアでは、ACBS の構築が進んでいる。国際間での単位互換を目指している。
- ヨーロッパにおいても、マイクロクレデンシャルの定義、活用が進んでいる。
- JV-Campusとの共同WGを設立した。
- 授業の質をどのようにして保証するか、がこれからの議論のテーマの一つである。
- マイクロクレデンシャルの統一した定義（すりあわせ）が急務である。